

2025年度 自己評価結果公表シート 健生保育園

1. 保育園の保育目標

<ul style="list-style-type: none"> ●健康な身体（からだ）作り ●優しさと思いやりを育む ●豊かな感性（感情）と創造力を養う ●忍耐力と行動力を身につける ●毎日を笑顔で過ごす
--

2. 本年度取り組む重点目標

保育 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性を育む保育の実践 ・集団生活力の向上 ・思いやりの心の育成
園運営	職員間の連携を強化し、報連相を徹底する
	保護者との信頼関係を深め、情報共有を丁寧に行う
	地域との交流を大切にし、開かれた園運営を行う
	安全管理体制を見直し、安心・安全な保育環境を維持する
	職員の資質向上のための研修参加と共有を積極的に行う

3. 重点目標達成に向けての具体的な計画

保育 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体性を育む保育の実践 2. 集団生活力の向上 3. 思いやりの心の育成
園運営	定期的な職員会議やミーティングを実施し、情報共有の徹底を図る
	連絡帳や掲示、ICT等を活用し、保護者への発信を充実させる
	地域行事や交流活動に積極的に参加し、関係性を深める
	避難訓練や安全点検を定期的に行い、危機管理意識を高める
	園内研修や外部研修に参加し、学びを共有する機会を設ける

4. 重点目標の達成及び取組状況

A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが、成果が十分でない

D: 取り組まれていない

評価項目	結果	理由
主体性を育む保育の実践	B	子どもが自ら選択して遊ぶ姿が増えたが、活動の幅をさらに広げる必要があるため
集団生活力の向上	B	異年齢交流を通して関わりが増えたが、場面によっては援助が必要な姿も見られるため
思いやりの心の育成	B	友だちを気遣い助け合う姿が日常的に見られるようになったが、思いを伝える際に強い言い方になったり、相手を傷つけてしまう言葉が見られることがあるため、適切な言葉で気持ちを伝えられるよう援助が必要である。

5. 総合的な評価

評価項目	評価内容
<p>運動会アンケート 回収率：80%</p>	<p>評価：全体として、運動会に対する保護者の満足度は非常に高く、子どもが「楽しく参加できた」との回答が96%を占めている。また、「成長を感じた」との回答も91%と高く、日々の保育の積み重ねが行事を通して十分に伝わっていることがうかがえる。さらに、運営や保育者の関わりについても「とても良かった」「良かった」が100%となっており、安心感と信頼を得られている結果となった。</p> <p>課題：一方で、「待ち時間が長い」「競技内容や構成の工夫」「事前案内の分かりやすさ」などについての意見も一部見られ、よりスムーズな進行や見通しを持てる工夫が求められている。また、体育活動の様子を見たいという声もあり、日常保育とのつながりをさらに可視化していくことが課題として挙げられる。</p> <p>改善策：・事前案内(競技内容・立ち位置・持ち物・撮影可否など)をより分かりやすく丁寧に伝え、保護者が安心して参加できるようにする。 ・待ち時間の軽減やスムーズな進行を意識し、競技内容や順番、参加人数の見直しを行うことで、子どもが集中して参加できる環境を整える。 ・日常保育とのつながりが伝わるよう、体育活動や普段の取り組みを取り入れた内容を一部取り入れるなど、保育の見える化を図る。</p>
<p>くまのこ会(0.1.2) アンケート 回収率：100%</p>	<p>評価：子どもが楽しんで参加できたとの回答が91%と高く、満足度の高い行事となった。また、内容についても全体的に「良かった」との評価が100%であり、保護者が子どもの成長や普段の保育の様子を感じられる機会となっていた。自由記述からも、親子での参加や温かい雰囲気、日常の姿が見られたことへの評価が多く、安心感や信頼につながっている様子がうかがえる。</p> <p>課題：一部で「どちらともいえない」「よくない」との意見も見られ、開催時間や日程の周知が遅かった点について改善の必要がある。また、活動内容において、保護者と一緒に行う場面と子ども主体で行う場面のバランスについての意見や、子どもが緊張して十分に表現できない姿も見られた。</p> <p>改善策：開催日程については、保護者が予定調整しやすいよう早めの周知を徹底する。活動内容については、親子で楽しむ時間と子どもが主体的に表現する時間をバランスよく構成し、子どもの姿がより引き出されるよう工夫する。また、緊張しやすい子どもにも安心して参加できるよう、日頃の活動とのつながりを大切にしながら進行を行う。</p>
<p>くまのこ会(3.4.5) アンケートアンケート 回収率：100%</p>	<p>評価：子どもが楽しんで参加できたとの回答が90%と高く、満足度の高い行事となった。また、内容についても「良かった」が100%となっており、保護者から高い評価を得ている。特に合唱や製作活動において、子どもたちの成長や努力、友だちと協力する姿に対する感動の声が多く見られた。日常の取り組みや練習の積み重ねが十分に伝わる機会となり、保育への信頼につながっている。</p> <p>課題：一部で座席スペースの狭さに関する意見があり、観覧環境の配</p>

	<p>慮が必要である。また、個々の発表だけでなく、友だちと協力して取り組む劇などの活動を見たいという意見も見られた。さらに、子どもが緊張する姿も見られるため、安心して表現できる環境づくりについても検討が必要である。</p> <p>改善策：観覧スペースについては配置や人数の調整を行い、保護者が安心して観覧できる環境を整える。活動内容については、合唱や個人の発表に加え、友だちと協力して取り組む表現活動（劇など）も取り入れ、さまざまな成長の姿が見られるよう工夫する。また、日頃の活動の延長として無理のない形で取り組める内容とし、子どもが安心して力を発揮できるよう環境や関わりを見直していく。</p>
<p>年度末保護者アンケート 回収率：100%</p>	<p>評価：全体として保護者からの満足度は非常に高く、「楽しく通えている」が95%と高い評価となっている。また、保育者との信頼関係や子ども理解、相談しやすい雰囲気についても高い評価が得られており、安心して預けられる環境が整っていることがうかがえる。さらに、人間関係や社会性を育む保育については100%の肯定的評価となっており、日々の保育の積み重ねが十分に伝わっている。行事や面談、保護者との関わりにおいても信頼関係が築かれており、園全体として安定した運営ができていているといえる。</p> <p>課題：一部において、情報発信や共有に関する課題が見られる。特に園だよりや掲示物の伝え方については「ややそう思う」が多く、より分かりやすい工夫が求められる。また、アンケート結果の確認状況にばらつきがあり、周知方法の改善が必要である。さらに、手紙の配布漏れや遅れに関する意見もあり、情報伝達の確実性に課題がある。施設面では安全設備に対する評価がやや分かれており、安心感をより高めていく必要がある。</p> <p>改善策：園だよりや掲示、配信ツールなどを活用し、保育内容や子どもの様子がより分かりやすく伝わるよう工夫していく。また、アンケート結果や各種連絡事項については、複数の方法で周知を行い、全保護者に確実に伝わる体制を整える。配布物についてはチェック体制を見直し、配布漏れや遅れがないよう職員間での確認を徹底する。さらに、安全面については定期的な点検と見直しを行い、保護者がより安心できる環境づくりを進めていく。</p>
<p>自己評価（園用）</p>	<p>評価：保護者アンケートの結果から、子どもが安心して楽しく園生活を送れていることや、保育者との信頼関係が十分に築かれていることがうかがえる。行事においても、子どもの成長や日々の保育の積み重ねが伝わる内容となっており、満足度の高い運営ができている。また、社会性や人との関わりを育む保育についても高い評価を得ており、園全体として安定した保育の実践が行えている。</p> <p>一方で、情報発信の分かりやすさや周知方法、行事の進行や環境面に関する課題も見られ、より丁寧で確実な運営が求められる。また、職員間の連携や報連相についても更なる強化が必要である。</p> <p>改善策：配布物や連絡事項については、複数人での確認体制を整え、</p>

	<p>漏れや遅れがないよう職員間での連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・行事については、事前案内の充実や進行の見直しを行い、子どもが主体的に参加でき、保護者にも分かりやすい内容となるよう改善していく。・安全管理については、施設設備の点検や見直しを定期的に行い、安心して過ごせる環境づくりを継続する。・職員の資質向上を図るため、研修への参加や学びの共有を積極的に行い、保育の質の向上につなげていく。
--	--

2025年度 自己評価チェックリスト（園用）

NO.1

A：できている(80%以上)

B：ほぼできている(60%ぐらい)

C：やや不十分である(40%ぐらい)

D：不十分である(20%以下)

園名 健生保育園

評価項目	内 容	評 価	
Ⅰ 保 育 理 念	子どもの最善の利益の考慮	一人一人の子どもの思いや欲求を受け止めて保育の実施にあたっていますか	B
		子どもの人権に配慮し、一人一人を尊重する保育が展開されていますか	A
		子どもの個人差や性差、国籍や文化の違いなどを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮していますか	A
		子どもについて気づいた事項を、職員間で共有できていますか	B
		子どもの権利、擁護に関して職員間で常に意識していますか	A
		園の保育方針を明文化していますか	B
		園の保育理念や方針、目標が保護者にわかりやすく示され、伝えられていますか	B
		園の保育課程は、保育所保育指針を踏まえ編成されていますか	A
		園の保育課程は、社会的状況や入所する乳幼児の実態を考慮し見直しを行っていますか	B
		指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づいて指導計画の見直しを行っていますか	B
		行事は、その保育上の意義を十分検討したうえで、計画し実施していますか	A
		地域や子どもの実態を考慮した子育て支援を行っていますか	C
		保育所の社会的責任を考慮し、保護者や学校又は地域と連携した取組を行っていますか	A
Ⅱ 子 ども の 発 達 援 助	1 子どもの福祉を増進すること	保育園の設備や環境を整え、衛生的で過ごしやすく、安全な環境の確保に努めていますか	B
		子どもが心地よく過ごすことができる環境となっていますか	A
		子どもが興味や関心を示し、主体的に関われる環境となっていますか	B
		園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わえる保育となっていますか	A
		人に対する愛情と信頼感を育み、自主、自立、協調の態度を養う保育となっていますか	A
		子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境となっていますか	A
	2 生活と発達の連続性	乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを、職員で共通理解していますか	B
		子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけた新たな能力を獲得していく過程であることを職員で共通理解していますか	B
		子ども観、発達観について職員間で共有していますか	A
		子どもの発達の特性や発達過程を職員で共通理解し、「発達の連続性」に配慮した保育となっていますか	B
		子どもは様々な環境との相互作用により発達していくことを職員で共通理解していますか	B
		子どもと生活や遊びを共にするなかで、一人一人の子どもの心身の状態が把握できていますか	A
		心身の発達の個人差を理解するために、一人一人の生理的、身体的な諸条件や生育環境の違いを把握し、職員で共有していますか	B
		特別な支援を必要とする子どもに対しても、その子どもに応じた適切な援助及び環境構成をしていますか	B

評価項目	内 容	評 価		
Ⅱ 子 ど も の 発 達 援 助	2 生活と発達の 連続性	保育所は子どもがその生活時間の大半を過ごす場であることを理解していますか	B	
		子どもの発達過程、生活リズム、心身の状態に十分配慮して、保育の内容や方法、職員の協力体制、家庭との連携などを指導計画に位置付けていますか	B	
		小学校と連携して子どもの発達の連続性を図っていますか	A	
	3 養護と教育の 一体的展開	養護及び教育に関わる「ねらい」及び「内容」を踏まえ、実際の保育において養護と教育が一体となって展開されていますか	B	
		子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、「養護」と「教育」に関わる目標を目指し、保育の計画（保育課程及び指導計画）に基づいて保育を行っていますか	B	
		「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図るための援助であることを職員が共通理解していますか	B	
		「教育」とは、子どもが健やかに成長し、活動がより豊かに展開され、心情、意欲、態度など子どもが身につけるための援助であることを職員が共通理解していますか	B	
		「養護」が基礎となって5領域における活動を展開していますか	B	
	4 環境を通して 行う保育	子どもを温かく受け入れる環境を作り、人と関わる力が育つような配慮をしていますか	A	
		子どもが言葉で伝えたいような体験を持つことができる環境を整え、伝え合う喜びを味わったり、言葉に対する感覚が養われたりするように配慮していますか	B	
		子どもがそれぞれの興味や関心、能力に応じて、全身を使って活動することができる環境を整えていますか	A	
		子どもがさまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えていますか	A	
		子どもが身近な自然や社会と関わるように配慮していますか	A	
		子どもが生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れられるような環境を工夫していますか	A	
		保育の環境を整え、定期的に評価反省し、環境の再構成をしていますか	B	
	Ⅲ 保 護 者 に 対 す る 支 援	1 家庭との 緊密な連携	保護者の意向を受けとめ、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士などの専門性をいかして援助していますか	A
			園の保育理念や方針、保育の様子などを伝え、保護者と相互理解を図るよう努めていますか	B
			保護者の気持ちを尊重しつつ、保護者の養育力の向上に資するよう適切に支援していますか	B
			保護者に育児不安などが見られる場合には、保護者の希望に応じて個別の支援を行うよう努めていますか	B
2 地域における 子育て 支援		子育て支援の取組を行い、地域の子どもの保育ニーズを把握するよう努めていますか	C	
		児童相談所や地域の関係機関、病院などの専門機関に相談や連携ができる体制が整っていますか	A	
		ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立していますか	C	
		地域の子育て家庭に子育てに関する情報等を提供していますか	B	

評価項目	内 容	評 価	
IV 保 育 を 支 え る 組 織 的 基 盤	1 健 康 お よ び 安 全 の 実 施 体 制	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育にいかしていますか	A
		子どもの喫食状況を把握し、食育に関する指導や保育を行っていますか	A
		感染症が発生した時、疾患を持つ子どもに対して医師からの指示に基づいて対応するように指示し、発生状況や予防対策などをすぐに保護者に連絡できる体制を作っていますか	A
		一人一人の子どもの出生時の状況、その後の発育や発達などを細かく把握し、職員で共通理解していますか	A
		子どもが危険な場所、危険な遊びがわかるように指導できる体制を、職員の中で作っていますか	B
		施設、設備の安全に関する点検を定期的に行っていますか	A
		急病、事故、怪我、不審者などの緊急時に備え、シミュレーションを実施していますか	A
		施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備、用具等の衛生管理に努めていますか	A
		家庭では子どもが十分に睡眠をとるなどして、健康的な生活リズムを身につけるよう保護者への啓発に努めていますか	A
		子どもの健康管理について嘱託医と連絡を取り、内容等を職員に知らせていますか	A
	2 職 員 の 資 質 向 上	「保育課程」は、園の方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえ編成されていますか	A
		「保育課程」は、地域の実情、子どもや家庭の状況、保育時間などを考慮し、子どもの育ちに関する長期的見通しを持って適切に編成されていますか	A
		指導計画は、保育課程に基づいて作成されていますか	A
		保育課程と指導計画の展開は、保育を振り返り省察して改善を図るようになされていますか	B
		保育の計画や保育の記録、保育実践の振り返りや職員同士の話し合い等を通じて、専門性の向上や保育実践の改善に努めていますか	B
		保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、園の保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めていますか	A
		園の自己評価にあたっては、適切な評価の観点や項目を設定し取り組むとともに、その結果を踏まえ保育の内容等の改善を図っていますか	A
		園の課題を踏まえた保育所内外の研修を計画的に実施し、必要な知識及び技術の習得、維持及び向上に努めていますか	A
		職員一人一人が主体的に学ぶと共に、他の職員等と学び合う環境を醸成していくことにより、園の活性化を図っていますか	B
研修内容は、職員会議等で他の職員へ周知されていますか	A		

評価項目	内 容	評 価	
IV 保 育 を 支 え る 組 織 的 基 盤	3 運 営 ・ 管 理 、 社 会 的 責 任	児童福祉施設最低基準第36条の趣旨を踏まえ、保育内容等の評価に関し、保護者及び地域住民等の意見を聴いていますか	B
		児童福祉法48条の3に基づき、保育内容（一日の過ごし方、年間行事計画、保育方針、職員の状況、その他保育所が実施している保育内容）等保育所の情報提供を行う努力をしていますか	A
		児童福祉法25条の2第1項に基づき、虐待が疑われる時は速やかに区役所又は児童相談所に通告し、適切な対応を図っていますか	A
		児童福祉法18条の4の規定を踏まえ、倫理観に裏づけられた専門的知識や技術、判断をもって保育していますか	A
		児童福祉施設最低基準第12条に基づき、乳幼児の健康診断を行っていますか	A
		児童福祉施設最低基準第6条に基づき、非常災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に対する具体的な計画を立て、避難及び消火訓練を少なくとも毎月1回行っていますか	A
		子どもや保護者の個人情報、守秘義務を遵守し、適切に扱っていますか	A
		機密情報は、名古屋市情報あんしん条例を遵守し、十分配慮して取扱っていますか	A
		保護者の苦情に対し、職員全体で共通理解したうえで、その対応を図り解決していますか	A
		保育の「ねらい」や「内容」を保護者にわかりやすく伝える工夫や配慮を行っていますか	B
		自己評価等で課題を見つけ、その課題解決のために研鑽し、計画的に園の改善を図っていますか	B
		職員間で互いの保育について話し合い、評価、反省をして次の保育にいかすことができる体制がありますか	B
		職員の課題解決に向けての指導助言や自己研鑽に対する援助や助言がされていますか	B
	実習生の受け入れに対する基本的なマニュアルに沿い、育成に努めていますか	A	